

第4学年		国語			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
力を合わせてばらばらに 1時間（話・聞①）	1	○様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ■必要なことを聞いて情報を集める話し合いをする。	【知・技】様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。（A(1)エ）	【態】積極的に、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、情報を集める話し合いをしようとしている。
春のうた 1時間（読①）	1	◎詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（知・技(1)ク） ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■想像しながら詩を音読する。 ☆自然のすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にすることを育てる題材（道徳）	【知・技】詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（(1)ク）	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。（C(1)エ）	【態】積極的に情景などを具体的に想像して読み、学習課題に沿って、想像しながら詩を音読しようとしている。
なりきって書こう つづけてみよう 1時間（書①）	1	○修飾と被修飾との関係について理解することができる。（知・技(1)カ） ○書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ■好きなものなどになりきって想像したことを書く。	【知・技】修飾と被修飾との関係について理解している。（(1)カ）	【思・判・表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。（B(1)オ）	【態】すすんで感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、なりきって想像したことを書こうとしている。
白いぼうし 7時間（読⑦）	1	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（知・技(1)ク） ■不思議なところについて考えたことを伝え合う。	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。（(1)ク）	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。（C(1)イ）	【態】すすんで登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、不思議なところについて考えたことを伝え合おうとしている。
図書館の達人になろう 1時間（知・技①）	1	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（知・技(3)オ） ■本の探し方を考えながら学校図書館で本を探す。 ☆学校図書館を活用した調べ学習（図書館活用）	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。（(3)オ）		【態】すすんで読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして、本の探し方を考えながら学校図書館で本を探そうとしている。
漢字辞典を使おう 2時間（知・技②）	2	◎漢字辞典の使い方を理解し使うことができる。（知・技(2)イ）	【知・技】漢字辞典の使い方を理解し使っている。（(2)イ）		【態】すすんで漢字辞典の使い方を理解し、学習課題に沿って、漢字辞典を使って調べようとしている。
春の楽しみ 2時間（書②）	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■春の行事の様子を伝える手紙を書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材（道徳）	【知・技】様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】積極的に春の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、春の行事の様子を伝える手紙を書こうとしている。

第4学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞き取りメモのくふう 【コラム】話し方や聞き方からつたわること 6時間 (話・聞⑥)	6	◎必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○相手を見て話したり聞いたりすることができる。(知・技(1)イ) ■聞きたいことを聞き、その内容を伝えるためにメモを取る。 ☆ICT端末を活用した録音・録画 (ICT活用)	【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりしている。(1)イ) ・必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ)	【態】粘り強く必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話の中心を捉え、学習の見通しをもって、聞いたことを伝えるためにメモを取ろうとしている。
カンジエはかせの都道府県の旅 1 2時間 (知・技②)	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ■都道府県名を使った文を作る。 ☆地域に目を向けさせる題材(社会)	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)		【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。
漢字の広場① 2時間 (書②)	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】すすんで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
思いやりのデザイン アップとルーズで伝える 【じょうほう】考えと例 8時間 (知・技①、読⑦)	8	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■筆者の考えに対してもった自分の考えを伝え合う。 ☆情報の発信のしかたやその意図に目を向けて課題を解決する学習(総合的な学習の時間)	【知・技】 ・接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを伝え合おうとしている。
お礼の気持ちを伝えよう 4時間 (書④)	4	◎相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ) ■お礼の手紙を書く。 ☆校外学習の見学先への礼状送付(社会、総合的な学習の時間)	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ)	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】すすんで相手や目的を意識して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって、お礼の手紙を書こうとしている。
漢字の広場② 2時間 (書②)	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】すすんで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。

第4学年 国語		単元のまとりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一つの花 7時間 (読⑦)	7	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■心に残ったことを伝え合う。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	【態】粘り強く、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、心に残ったところを伝え合おうとしている。
つなぎ言葉のはたらきを知ろう 2時間 (知・技②)	2	◎接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	【知・技】接続する語句の役割について理解している。(1)カ)		【態】積極的に接続する語句の役割を理解し、これまでの学習をいかして、つなぎ言葉を使って文を書こうとしている。
短歌・俳句に親しもう (一) 1時間 (知・技①)	1	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ■短歌や俳句を音読したり暗唱したりして親しむ。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	【知・技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)		【態】すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、短歌や俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。
【じょうほう】要約するとき 2時間 (読②)	2	◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(思・判・表C(1)ウ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ■文章を要約する。 ☆多くの情報を集め、目的を意識して内容を要約、発信(総合的な学習の時間)	【知・技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ)	【態】粘り強く目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、文章を要約しようとしている。
新聞を作ろう 【コラム】アンケート調査のしかた 10時間 (書⑩)	10	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■新聞を作る。 ☆調べたことの整理、表現(社会、総合的な学習)	【知・技】比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	【態】すすんで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞を作ろうとしている。
カンジーはかせの都道府県の旅2 2時間 (知・技②)	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ■都道府県名を使った文を作る。 ☆地域に目を向けさせる題材(社会)	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)		【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。
夏の楽しみ 2時間 (書②)	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏の行事などを俳句にする。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	【知・技】様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に夏の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、夏の行事の様子を俳句で表現しようとしている。

第4学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本のポップや帯を作ろう 神様の階段 5時間 (読⑤)	5	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■読んでほしい1冊をポップや帯で紹介する。 ☆読書生活の充実(図書館活用)	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって、本をポップや帯で紹介しようとしている。
忘れもの ぼくは川 2時間 (読②)	2	○詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■詩から受けた印象を伝え合う。	【知・技】詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】すすんで二つの詩を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習課題に沿って、詩から受けた印象を伝え合おうとしている。
あなたなら、どう言う 3時間 (話・聞③)	3	◎考えとそれを支える理由との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■グループで役割を決めて、それぞれの立場で話し合いをする。 ☆ICT端末の活用による録音、録画(ICT活用)	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・考えとそれを支える理由との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】積極的に、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習課題に沿って、異なる立場に立って話し合いをしようとしている。
パンフレットを読もう 2時間 (読②)	2	◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■パンフレットの工夫について話し合う。 ☆調べ学習における情報収集(社会、総合的な学習の時間)	【知・技】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】積極的に目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、パンフレットの工夫について話し合おうとしている。
どう直したらいいかな 2時間 (書②)	2	◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ) ■文章を推敲する。 ☆日常生活や学習場面での記述とその見直し(各教科等)	【知・技】 ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】すすんで文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、学習の見通しをもって、文章を推敲しようとしている。
いろいろな意味をもつ言葉 2時間 (知・技②)	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○国語辞典の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	【知・技】 ・様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・国語辞典の使い方を理解し使っている。(2)イ)		【態】すすんで様子や行動を表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、言葉遊びの詩を作ろうとしている。
ローマ字を使いこなそう 2時間 (知・技②)	2	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ) ☆パソコンのキーボード入力など、必要な場面におけるローマ字の活用(ICT活用) ☆ローマ字表記と英語の違いの確認(外国語活動)	【知・技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。(1)ウ)		【態】積極的にローマ字の表記を考え、これまでの学習をいかして、ローマ字を書こうとしている。

第4学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の広場③ 2時間 (書②)	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】 ・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・接続する語句の役割について理解している。(1)カ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】すすんで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書くとしている。
ごんぎつね 【コラム】言葉を分類しよう 12時間 (知・技①、読①)	12	◎言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語の結末についての感想を書く。	【知・技】言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】すすんで文章を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習の見通しをもって、物語の結末についての感想を書こうとしている。
漢字を正しく使おう 2時間 (知・技②)	2	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○第4学年までに配当されている漢字を読み、第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第4学年に配当されている漢字を漸次書くことができる。(知・技(1)エ)	【知・技】 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・第4学年までに配当されている漢字を読み、第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第4学年に配当されている漢字を漸次書いている。(1)エ)		【態】すすんで同音異義語や送り仮名の付け方などについて理解し、学習課題に沿って、漢字を文や文章の中で使おうとしている。
秋の楽しみ 2時間 (書②)	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■秋の行事の楽しさを伝える手紙を書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	【知・技】様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に秋の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、秋の行事の様子を伝える手紙を書こうとしている。
クラスみんなで決めるには 8時間 (話・聞⑧)	8	◎比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■役割を意識しながらクラス全体で話し合っって考えをまとめる。 ☆役割を意識して話し合う姿勢を育てる題材(特別活動) ☆自分と違う考えと接するときに、約束に則って適切に判断する態度について考える題材(道徳) ☆ICT端末を活用した録音・録画(ICT活用)	【知・技】比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】積極的に役割を果たしながら話し合い、学習課題に沿って、考えをまとめようとしている。

第4学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
未来につなぐ工芸品 工芸品のみりょくを伝えよう 12時間 (書⑥、読⑥)	12	◎事典の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(思・判・表C(1)ウ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■調べて分かったことなどをまとめて書く。 ☆インターネットを活用した情報収集(ＩＣＴ活用) ☆図書館を活用した調べ学習(図書館活用) ☆我が国の伝統と文化を大切にする心を育てる題材(道徳)	【知・技】 ・事典の使い方を理解し使っている。(2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ)	【態】積極的に、中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもって、調べて分かったことをまとめて書こうとしている。
慣用句 2時間 (知・技①、書①)	2	◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■慣用句の意味を調べて文を作る。	【知・技】長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使っている。(3)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】すすんで慣用句の意味を知り、学習の見通しをもって、慣用句を使った文を書こうとしている。
短歌・俳句に親しもう (二) 1時間 (知・技①)	1	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ■短歌や俳句を音読したり暗唱したりして親しむ。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	【知・技】易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)		【態】すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、短歌や俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。
漢字の広場④ 2時間 (書②)	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】すすんで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
友情のかべ新聞 8時間 (読⑧)	8	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■おもしろいと思ったところを伝え合う。 ☆関連図書の読書(図書館活用)	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	【態】積極的に登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けながら想像して読み、学習の見通しをもって、おもしろいと思ったところを伝え合おうとしている。
もしものときにそなえよう 10時間 (書⑩)	10	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■調べて考えたことを文章に書く。 ☆自然災害に備えた防災学習(社会、理科) ☆インターネットを活用した情報収集(ＩＣＴ活用) ☆図書館を活用した調べ学習(図書館活用)	【知・技】考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】積極的に自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にし、学習の見通しをもって、調べて考えたことを文章に書こうとしている。

第4学年		国語	単元のまとりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
冬の楽しみ 2時間 (書②)	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■冬の行事の楽しさを伝えるかるたを作る。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	【知・技】様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に冬の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、冬の行事の楽しさを知らせるかるたを作ろうとしている。
自分だけの詩集を作ろう 4時間 (書②、読②)	4	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■詩や詩集を読み、自分だけの詩集を作る。 ☆テーマに合った詩の収集(図書館活用)	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】団すんで目的を意識して詩を選び、学習の見通しをもって、自分だけの詩集を作ろうとしている。
言葉から連想を広げて 2時間 (書②)	2	◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ■連想したことを基にひと言で詩を書く。	【知・技】必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】団すんで連想を広げ、書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、ひと言で詩を書くようとしている。
熟語の意味 2時間 (知・技②)	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	【知・技】第4学年までに配当されている漢字を読んでいる。(1)エ)		【態】すすんで第4学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、漢字や熟語を正しく読んだり書いたりしようとしている。
漢字の広場⑤ 2時間 (書②)	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】すすんで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書くようとしている。
風船でうちゅうへ 8時間 (読⑧)	8	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■興味をもったところを中心に要約して紹介する文章を書く。 ☆調査・結果・考察など、記録・報告における事実と考えの整理(理科、総合的な学習の時間)	【知・技】 ・様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】すすんで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書くようとしている。

第4学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
つながりに気をつけよう 4時間 (知・技①、書③)	4	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■つながりに気をつけて文章を書く。	【知・技】主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解している。(1)カ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】すすんで、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解し、これまでの学習をいかして、つながりに気をつけて文章を書くようにしている。
心が動いたことを言葉に 7時間 (書⑦)	7	◎書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ■心が動いたことを詩に書いて友達と読み合う。	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解している。(1)カ)	【思・判・表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)	【態】すすんで感想を伝え合い、これまでの学習をいかして、心が動いたことを言葉にして書いた詩を読み合っている。
調べて話そう、生活調査隊 8時間 (話・聞⑧)	8	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。(知・技(1)イ) ◎目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ■調査の報告をする。 ☆目的を意識して調査結果を整理、発表(社会、理科、総合的な学習の時間) ☆I C T端末を活用した録音・録画(I C T活用)	【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)	【態】すすんで、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしようとしている。
スワンレイクのほとりで 7時間 (読⑦)	7	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語を読んで考えたことを伝え合う。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】すすんで一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、学習の見通しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
漢字の広場⑥ 2時間 (書②)	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】すすんで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書くようにしている。

第4学年		国語			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
四年生をふり返って 1時間（書①）	1	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■1年間の国語科での学びを振り返り、書く。	【知・技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。（(1)ア）	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】すすんで経験したことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。

第4学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習の進め方 [教科書 巻頭]		◎学習の進め方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]			【態】積極的に(①)学習の進め方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)書写学習に取り組もうとしている(④)。
用具のじゅんび/用具のかたづけ [教科書P2]		◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	【知】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。	【思】毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を確かめている。	【態】積極的に(①)毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)適切に扱おうとしている(④)。
書くときのしせい [教科書P3]		◎書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)エ(ウ)]	【知】書くときの姿勢を正しくしている。	【思】書くときの正しい姿勢を確かめている。	【態】すすんで(①)書くときの姿勢を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。
筆の持ち方/タブレットを活用しよう [教科書P4-5]		◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。[知技(3)エ(ウ)]	【知】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。	【思】筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。	【態】すすんで(①)筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ(③)、学習課題に沿って(②)筆の持ち方を正しくしようとしたり、タブレット端末を活用しようとしたりしている(④)。
点画の種類 [教科書P6-7]	1	◎点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書くことができる。[知技(3)エ(ウ)]	【知】点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書いている。	【思】点画を書くなかで、穂先の向きと筆圧などを確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方や筆圧などを確かめ(③)、学習課題に沿って(②)点画を書こうとしている(④)。
部分の組み立て方(左右) [教科書P8-9]	3	◎左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)・(ウ)]	【知】左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	【思】毛筆で「林」を書写するなかで、左右の部分の組み立て方を確かめている。	【態】積極的に(①)左右の部分の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)左右の部分でできている漢字を書こうとしている(④)。
部分の組み立て方(上下) [教科書P10-11]	3	◎上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)・(ウ)]	【知】上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	【思】毛筆で「雲」を書写するなかで、上下の部分の組み立て方を確かめている。	【態】積極的に(①)上下の部分の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)上下の部分でできている漢字を書こうとしている(④)。
筆順と字形 [教科書P12-13]	3～4	◎筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	【知】筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書いている。	【思】毛筆で「左右」を書写するなかで、横画と左払いが交わるときのルールを確かめている。	【態】すすんで(①)筆順と字形の関係を理解し(③)、学習課題に沿って(②)横画と左払いが交わる漢字を書こうとしている(④)。
画の方向 [教科書P14-15]	3～4	◎画(左払い)の方向を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	【知】画(左払い)の方向を理解し、形を整えて書いている。	【思】毛筆で「麦」を書写するなかで、二つ並んだ左払いの方向の違いを確かめている。	【態】積極的に(①)画の方向を理解し(③)、学習課題に沿って(②)二つ並んだ左払いをもつ漢字を書こうとしている(④)。
平がな(折れ) [教科書P16-17]	3	◎毛筆を使用して、平仮名の筆使い(折れ)への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。[知技(3)エ(ア)・(ウ)]	【知】毛筆を使用して、平仮名の筆使い(折れ)への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	【思】毛筆で「らん」を書写するなかで、平仮名の筆使い(折れ)を確かめている。	【態】すすんで(①)平仮名の筆使い(折れ)への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)折れをもつ平仮名を書こうとしている(④)。
ノートの達人になろう [教科書P18-19]	2	◎漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)] ○ノートに読みやすく書くことができる。[B(1)イ・ウ]	【知】漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書いている。	【思】硬筆で文章を書くなかで、漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)を確かめている。	【態】すすんで(①)漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意し(③)、学習課題に沿って(②)ノートを読みやすく書こうとしている(④)。
書写広げたい①<理科> [教科書P20]		◎漢字や仮名の大きさ、配列(横書き)に注意して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)] ○ノートに読みやすく書くことができる。[B(1)イ・ウ]	【知】漢字や仮名の大きさ、配列(横書き)に注意して書いている。	【思】横書きのノートを書く活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列(横書き)を確かめている。	【態】すすんで(①)漢字や仮名の大きさ、配列(横書き)に注意し(③)、学習課題に沿って(②)横書きのノートを読みやすく書こうとしている(④)。
みんなで考えよう SDGsブック [教科書P21-24]		◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】発表用のポスターを作成する活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までに学習を生かして(②)発表用のポスターを作成しようとしている(④)。

第4学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことば〔教科書P25〕	1	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】俳句をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)俳句をなぞろうとしている(④)。
漢字どうしの大きさ 〔教科書P26-27〕	3～4	◎漢字どうしの大きさに注意して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(イ)・(ウ)〕	【知】漢字どうしの大きさに注意して書いている。	【思】毛筆で「白馬」を書写するなかで、漢字どうしの大きさを確かめている。	【態】すすんで(①)漢字どうしの大きさに注意し(③)、学習課題に沿って(②)言葉を書こうとしている(④)。
書写広げたい②<国語> 〔教科書P28-29〕	2	◎漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。〔B(1)イ・ウ・エ、(2)ア〕	【知】漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心や字間)に注意して書いている。	【思】リーフレットを書く活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心や字間)について学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】すすんで(①)漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心や字間)について工夫し(③)、学習課題に沿って(②)読みやすいリーフレットを書こうとしている(④)。
〔やってみよう〕町の安全を伝えよう〔教科書P30-31〕		◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくって、調べたことをわかりやすくまとめることができる。〔B(1)イ・ウ・エ、(2)ア〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】防災マップを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】すすんで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)防災マップを書こうとしている(④)。
書きぞめ 〔教科書P32-35・P49-52〕	6	◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
四年生のまとめ①② 〔教科書P36-39〕	3	◎第4学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】毛筆で「大地」を書写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】すすんで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めためてに沿った文字を書こうとしている(④)。
手紙の書き方／はがきの表書き／げんこう用紙の使い方 〔教科書P40-41〕		◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくって文章の構成を考えることができる。〔B(1)イ・ウ・エ、(2)イ〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙などに書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】すすんで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙などに書こうとしている(④)。
平かな／かたかな／ローマ字 〔教科書P42-43〕		◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)エ(ア)〕	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。		【態】すすんで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、今までの学習を生かしながら(②)書こうとしている(④)。
三年生で学習した漢字 〔教科書P44-45〕		◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)〕	【知】点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。		【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
四年生で学習する漢字 〔教科書P46-48〕		◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	【知】点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。		【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かしながら(②)字形を整えて書こうとしている(④)。
身近な文字をさがそう 〔教科書P53〕		◎町にある身近な文字に興味をもつことができる。〔知技(3)エ(ア)・(イ)〕			【態】積極的に(①)身の回りの文字を探し(③)、学習の見通しをもって(②)見つけた文字について発表しようとしている(④)。

第4学年 社会		単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
1 わたしたちの東京都の様子(都道府県の様子)	8	東京都の様子について、我が国における東京都の位置、東京都全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、地図帳や各種資料などを用いて調べて白地図などにまとめ、東京都の位置や全体の地形、主な産業、交通網や都市の位置などの情報を総合して、東京都の地理的環境の特色を考え、表現することを通して、東京都の地理的概要及び、47都道府県の名称と位置を理解できるようにする。東京都の様子について主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、東京都に対する関心を高める。	①国内における東京都の位置、隣接する県との位置関係、都全体の地形や主な産業、交通網の様子や主な都市の位置などについて、地図帳や各種の資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、東京都の様子について理解している。 ②調べたことを白地図などにまとめて、東京都の地理的環境の概要及び、47都道府県の名称と位置を理解している。	①東京都の位置、東京都全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な駅の位置などに着目して、問いを見出し、東京都の様子について考え、表現している。②日本全体における東京都の位置、都全体の地形の様子、産業の分布や交通網の広がりなどを関連付け、総合して東京都の地理的環境の特色を考え、表現している。
1 水はどこから	10	飲料水は、計画的に作り出され、他地域の協力を得て確保されていることについて調べ、飲料水が蛇口に届くまでの経路や水道局の仕事とそれに携わる人々の工夫や努力を理解して、すすんで水を大切にしようとする態度を養う。	①飲料水の供給の仕組みや経路、都内外の人々の協力などについて、見学・調査や地図などの資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、飲料水の供給のための事業の様子を理解している。 ②調べたことをポスターやパンフレット、文などにまとめ、飲料水を供給する事業は安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。	①飲料水の供給の仕組みや経路、都内外の人々の協力などに着目して問いを見出し、飲料水の供給のための事業の様子について考え、表現している。②比較・関連付け、総合などして飲料水の供給事業が果たす役割を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして適切に表現している。
2 ごみのしりと利用	10	ごみを処理する事業について、処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料を活用して調べたりしてまとめる。また、それらの事業が果たす役割を考え、表現することを通して、ごみを処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上を支えていることを理解できるようにする。	①廃棄物処理の仕組みや再利用の様子、県内外の人々の協力などについて、調査・見学したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。②調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物処理に関する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上を支えていることを理解している。	①廃棄物処理の仕組みや再利用の様子、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見だし、廃棄物処理のための事業の様子について考え表現している。②廃棄物処理の仕組みや人々の協力関係と地域の生活環境の維持・向上を関連付け、その事業が果たす役割を考えたり、学習したことを基に、廃棄物の減量化のために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。
1 水害からくらしを守る	12	自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取り調査をしたり、地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域社会の一員として自然災害から地震の安全を守り、自然災害の備えに取り組もうとする態度を養う。	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。②聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。	①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して問いを見出し、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現している。②自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて、それらのはたらきを考えたり、地域で起こり得る災害を想定し、自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。
1 受けつがれる祭り～武蔵府中くらみ祭	8	東京都で受けつがれている文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして年表にまとめ、都内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、東京都の文化財や年中行事は地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の願いが込められていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学んだことを基に、自分たちにできることなどを考えるなど、地域に対する誇りをもち、地域の伝統や文化の継承に協力していくようとする態度を養う。	①歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組について、見学・調査したり地図帳などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、東京都内の文化財や年中行事の様子を理解している。②調べて分かったことを文章や年表などにまとめて、都内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。	①歴史的背景や現在に至るまでの経過、保存や継承のための取組などに着目して、問いを見出し、東京都内の文化財や年中行事の様子について考え、表現している。②文化財や年中行事を保存したり、受け継いだりしている人々の工夫や努力と、地域の人々の願いを関連付け、文化財や年中行事を受け継ぎ保存していることの意味を考えたり、自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。
2 青山土と荒川	11	洪水に悩まされた地域の人々の生活や荒川放水路建設に尽くした先人(青山土と工事に参加した人々)の努力や工事の工夫について調べ、人々の願いや生活の向上について考えようとする。	○地域の発展に尽くした先人の働きについて、文書資料、地図、写真などから必要な情報を読み取ったりまとめたりしている。○地域の人々の生活の変化や向上は先人の努力によるものであることを理解している。	○地域の発展に尽くした先人の働きと生活の向上について考え、年表や写真絵コンテ、学習感想などに適切に表現している。

第4学年 社会		単元のまとまりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 染め物のさかんな新宿区	8	①染め物産業の盛んな新宿区の様子について、盛んな地域の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料を活用して調べ、白地図などにまとめ、地域の様子を捉え、その特色を考え、表現することを通して、様々な立場の人々が協力し、特色あるまちづくりや染め物産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に伝統的な産業を大切にしていこうとする態度を養う。	①新宿区の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などについて調べ、必要な情報を集め、読み取り、染め物産業が盛んな新宿区の様子を理解している。②調べたことを白地図や文章にまとめ、染め物産業に携わる人々が協力し、特色あるまちづくりや染め物産業の発展に努めていることを理解している。	①新宿区の位置や自然環境、染め物産業に携わる人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、染め物産業が盛んな新宿区の様子について考え表現している。②特色ある地域の人々の活動や産業を地域の発展と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、染め物産業が盛んな新宿区の特色を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	①染め物産業の盛んな新宿区について、予想や学習問題を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。②学習したことを基に、これからの伝統的な技術を生かした地場産業について、東京都民の一員として、どのようにかわっていくべきか考えようとしている。
2 世界とつながる大田区	10	①国際理解に取り組んでいる大田区について、位置や、国際交流活動及びその背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料、ホームページなどで調べ、文章に記述したり新聞などにまとめたりにして地域の様子を捉え、大田区の特色を考え、表現することを通して、大田区では人々が協力し、国際都市をめざしたまちづくりをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、東京都民の誇りと愛着をもち、東京都民の一員として地域の外国人と共に生活していくために自分たちができることを考えようとする態度を養う。	①大田区の位置、国際交流活動及びその背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、国際交流に取り組んでいる大田区の様子を理解している。②調べたことを文章に記述したり、新聞にまとめたりにして、大田区では、人々が協力し国際都市をめざしたまちづくりをしていることを理解している。	①大田区の位置や国際交流活動の背景、人々の協力関係などに着目して問いを見出し、大田区の様子について、考え、表現している。②地域での活動状況と人々の取組を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、国際交流に取り組んでいる大田区の特色を考え、適切に表現している。	
3 豊かな自然環境を守り生かす小笠原村	10	豊かな自然環境を守り生かしている小笠原村について、位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめることを通して、小笠原村では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、学習したことを基に、東京都民の誇りと愛情をもち、東京都民の一人として豊かな自然を大切にしていこうとする態度を養う。	①小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、小笠原村の様子を理解している。②調べたことをガイドブックや文などにまとめ、小笠原村では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。	①小笠原村の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、問いを見出し、小笠原村の様子について考え、適切に表現している。②小笠原村の人々の活動や産業と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、小笠原村の位置や自然環境、特色を考え、適切に表現している。	①小笠原村の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。②東京都民の一員として小笠原村の自然環境の素晴らしさやそれを守ることの大切さについて考えようとしている。

第4学年 算数		単元のまとまりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで算数をはじめよう！/ペントミノ	2	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・問題解決の進め方を理解している。	正方形を5個つなげた形のいろいろな場合について、筋道を立てて考えたり表現したりしている。	・問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。
1. 大きな数	9	○億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、大きな数の大きさの比べ方や表し方、計算のしかたを統合的に捉える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)、A(1)イ(ア)、内(1)(3)】	・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、表すことができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・整数の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
2. わり算の筆算	9	○除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)、A(3)イ(ア)、内(2)】	・除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、被除数＝除数×商＋あまりの関係について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
3. 折れ線グラフ	9	○折れ線グラフについて理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフ的に確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(イ)、D(1)イ(ア)、内(10)】	・折れ線グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。＜思・判・表＞	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
油分け	1	①筋道を立てて考える力を伸ばす。		・7dLや3dLの容器を使って5dLを量り取る方法を、筋道を立てて考えている。	
4. 角	8	○角の大きさについて理解し、角の大きさを測定したり作図したりすることができるとともに、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、角の大きさの単位と測定のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(5)ア(ア)(イ)、B(5)イ(ア)】	・角の大きさを回転の大きさとして捉え、角の大きさの単位「度(°)」について理解し、角の大きさを測定することができる。＜知・技＞	・図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。＜思・判・表＞	・角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
5. 2けたの数のわり算	14	○除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算ができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(3)イ(ア)、内(4)】	・除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
6. がい数	9	○概数や四捨五入について理解し、目的に応じて概数で表したり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるとともに、目的に合った数の処理のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、概数を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	・概数が用いられる場合や四捨五入について知り、目的に応じて概数を作ったり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。＜知・技＞	・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・概数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
こわれた電たく	1	①乗法に関して成り立つ性質について理解を深める。		・18×25と答えが同じになる式を、乗法に関して成り立つ性質を用いて考えている。	

第4学年 算数

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7. 垂直、平行と四角形	14	○直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)、内(7)】	・直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、それらの図形を作図することができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。＜思・判・表＞	・台形、平行四辺形、ひし形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
8. 式と計算	7	○数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質について理解し、正しく計算することができるとともに、数量の関係を式に表したり式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、式のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)、A(7)ア(ア)、A(7)イ(ア)、内(6)】	・四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算することができる。また、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、その関係を○、△などを用いて式に表したり、数をあてはめて調べたりすることができる。＜知・技＞	・問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。また、計算に関して成り立つ性質を用いて計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
9. 面積	12	○平面図形の面積、及び公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、面積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ)、B(4)ア(ア)(イ)、B(4)イ(ア)、内(8)】	・面積の単位「cm ² 、m ² 、km ² 、a、ha」と測定の意味、単位の関係について理解し、長方形及び正方形の面積を公式を用いて求めることができる。＜知・技＞	・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。＜思・判・表＞	・長方形や正方形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
つないだ輪を切って	1	①つないだ輪を切ってできる形について、図形の性質に着目して筋道を立てて考え説明し、図形についての感覚を豊かにする。		・つないだ輪を切ってできる形について、正方形ができた場合をもとに、条件を変えたときにどのような形ができるかを図形の性質に着目して考えている。	
10. 整理のしかた	6	○データを2つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、二次元表に表したりよんだりすることができるとともに、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、二次元表の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)、D(1)イ(ア)、内(9)】	データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。＜知・技＞	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。＜思・判・表＞	・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
11. くらべ方	5	○倍の数量関係について理解を深めるとともに、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、図や式などを用いて、それらの関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程において、比べ方について多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(イ)、C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	・整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。また、簡単な場合について、ある2つの数量の関係を別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。＜知・技＞	・日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の關係と別の2つの数量の關係との比べ方を考察している。＜思・判・表＞	・ある2つの数量の關係と別の2つの数量の關係との比べ方について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
12. 小数のしくみとたし算、ひき算	13	○小数のしくみや数の相対的な大きさについて理解を深め、小数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(イ)(ウ)、A(4)イ(ア)】	・小数が整数と同じしくみで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。また、小数の加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞	・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・小数とその計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞
13 変わり方	5	○伴って変わる2つの数量について、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表すことができるとともに、それらを用いて変化や対応の特徴を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、関数の考えのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)、C(1)ア(ア)、C(1)イ(ア)】	・変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴をよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの關係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。＜思・判・表＞	・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。＜態度＞

第4学年		算数	
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
14. そろばん	2	○そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、そろばんのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア)、A(8)イ(ア)】	・そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞ ・そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞ ・そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
方眼で九九を考えよう	1	①方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて捉え、分配法則についての理解を深める。	・分配法則が成り立つことや九九の総和の求め方を、方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて考えている
15. 小数と整数のかけ算、わり算	15	○小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味、及び小数を用いた倍について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(エ)、A(4)イ(ア)、内(5)】	・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。また、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。＜知・技＞ ・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞ ・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
16. 立体	9	○直方体や立方体について理解し、見取図や展開図による表現や構成のしかたを考察して図形の性質を見いだしたり、日常の事象を図形の性質から捉え直したりする力を身につけるとともに、ものの位置の表し方について理解し、数を用いて位置を表現する方法を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、図形の性質や表現を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 B(2)ア(ア)(イ)(ウ)、B(2)イ(ア)、B(3)ア(ア)、B(3)イ(ア)】	・直方体や立方体、及びそれらに関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解し、見取図や展開図を作図することができる。また、ものの位置の表し方について理解している。＜知・技＞ ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。また、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。＜思・判・表＞ ・直方体や立方体、及びものの位置の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
17. 分数の大きさとたし算、ひき算	10	○簡単な場合について大きさの等しい分数があることを知り、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを図や式などを用いて考えたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(5)ア(ア)(イ)、A(5)イ(ア)】	・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。＜思・判・表＞ ・分数とその加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。＜態度＞
部屋分けパズル	1	①1つの数をほかの数の積とみることや面積についての理解を深め、筋道を立てて考える力を伸ばす。	・1つの数をほかの数の積とみて分解して面積公式を適用するなど、部屋分けパズルの解決のしかたを筋道を立てて考えている。
算数を使って考えよう	2	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	・表やグラフを用いて表されたデータを分析したり、よみ取った結論について多面的に考察したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。 ・日常の場面から算数の問題を見だし、面積などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
4年のまとめ	2	①②第4学年の学習内容の問題を解決することができる。	・第4学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。 ・第4学年の学習内容について自らの学習状況を振り返り、それらが確実に身につくように粘り強く取り組もうとしている。

第4学年		理科	単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●春の始まり	1	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。			【態度】 身近な動物や植物についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
1. 天気と気温	7	気温に着目して、それらと天気の様子とを関係付けて、天気の様子を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 天気について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈発言分析・記録分析〉 【知・技】 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 天気について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 天気について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 天気についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 天気について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
2. 春	7	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 春の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 春の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 春の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	【思・判・表】 身近な動物や植物について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 春の身近な動物や植物についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
3. 電池のはたらき	9	電流の大きさや向き、乾電池につないだ物の様子に着目して、それらと関係付けて、電流の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 乾電池のつなぎ方を変えると、電流の向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 電流の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	【思・判・表】 電流の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 電流の働きについての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 電流の働きについての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 電流の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第4学年		理科			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4. とじこめた空気や水	6	体積や押し返す力の変化に着目して、それらと圧す力とを関係付けて、空気と水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 空気の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 空気の性質についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
● 夏	5	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 夏の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 夏の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 夏の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉		
● 星の明るさや色	3	星の明るさや色に着目して、それらを比較しながら、星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。		【思・判・表】 星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	【態度】 星の特徴についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
● 自由研究	2				

第4学年 理科		単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現
● 夏の終わり	3	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 夏の終わりの身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 夏の終わりの身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 夏の終わりの育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	
5. 雨水のゆくえ	10	水の流れやしみ込み方、行方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさ、水の状態変化とを関係付けて、雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 雨水の行方と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 自然界の水の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 雨水の行方と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 雨水の行方と地面の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 自然界の中の水の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 自然界の中の水の様子について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
6. 月と星の位置の変化	8	月や星の位置の変化に着目して、それらと関係付けて、月や星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 月の特徴について、器具や機器をなど正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 月の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 星の特徴について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 星の特徴について見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

第4学年 理科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7. わたしたちの体と運動	9	骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらを関係付けて、人や他の動物の体のつくりと運動との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 人の体には骨と筋肉があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 人や他の動物の体について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	【思・判・表】 人や他の動物の体について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 人や他の動物の体について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 人や他の動物の体についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 人や他の動物の体について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
● 秋	3	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 秋の身近な動物の活動について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 秋の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 秋の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉		
8. ものの温度と体積	8	体積の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 金属の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 空気の性質についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 金属、水及び空気の温度と体積の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
● 冬の星	2	冬の星に着目して、それらを関係付けて、冬の星の特徴を調べる活動を通してそれらについて理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。			【態度】 星についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第4学年 理科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
● 冬	5	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらに関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 冬の育てている植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 冬の身近な植物の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 冬の身近な動物の活動について、器具や機器を正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること、また、植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 身近な動物や植物について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
9. もののあたたまり方	8	熱の伝わり方に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、金属、水及び空気の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 金属の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は熱せられた部分が移動して全体が温まることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 金属の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 空気の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 金属、水及び空気の温まり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 金属の性質についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
10. すがたを変える水	8	状態の変化に着目して、それと温度の変化とを関係付けて、水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 水は、温度によって水蒸気になることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 【知・技】 水は、温度によって氷になること、また、水が氷になると体積が増えることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 水の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 【思・判・表】 水の性質について、既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 水の性質についての事物・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 【態度】 水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第4学年		理科	単元のまとりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
● 春のおとずれ	1	動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長の様子と季節の変化に着目して、それらと関係付けて、身近な動物の活動や植物の成長と環境との関わりを調べることを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。			【態度】 身近な動物や植物について一年間を通して学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第4学年 音楽		学年 第4学年		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
			知識・技能	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
〈導入〉 「ありがとうの花」	(随時 扱い)	(1)曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じる。	○曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
〈スキルアップ〉 「早口」	(毎時 扱い)	(1)曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付ける。 (2)旋律やリズム、音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)言葉の面白さを生かした歌唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	○「早口」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○呼吸及び発音の仕方に気を付けて「早口」を歌う技能を身に付けている。	「早口」の旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
〈スキルアップ〉 早口言葉でラップを楽しもう！	(毎時 扱い)	(1)リズムフレーズのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)リズムや音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3)言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ボイスアンサンブルに親しむ。	○リズムフレーズのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ○音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	リズムや音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「さくら さくら」 (共通教材) ◎さくら変そう曲	2	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ○旋律の反復や変化、もとなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりする。 ○歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○「さくら さくら」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で「さくら さくら」を歌う技能を身に付けている。	○「さくら さくら」の旋律の反復や変化、もとなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、箏の音楽のよさを見いだして聴いている。
1 はくとせんりつ	6	(1)曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付ける。 (2)拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。 (3)拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな拍子の音楽に親しむ。	○曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けている。	拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。
2 ひびきのある歌声	4	(1)曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴く。 (3)いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ミュージカルの音楽に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。

第4学年 音楽		学年 第4学年			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「まきばの朝」(共通教材)	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 音の動き方を生かしてせんりつをつくらう	2	(1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律やフレーズに親しむ。	○音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈めざせ 楽器名人〉 「ハロー サミング」 「もののけ姫」から	毎時	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付ける。 ○旋律や旋律同士の関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ○高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏・二部合奏に親しむ。	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付けている。	旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3 曲に合った歌い方	4	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4 かけ合いと重なり	3	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「もみじ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや二部合唱に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第4学年 音楽		学年 第4学年			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 日本と世界の音楽	6	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見いだし、味わって聴いたりする。 (3) 我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見いだし、味わって聴いたりしている。	我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 音階をもとにして音楽をつくろう	2	(1) 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。 (3) 音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。	音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
6 パートの役わり	3	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、タンゴの音楽や合奏に親しむ。	○曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
7 音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、オーケストラの響きに親しむ。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。	音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
8 思いに合った表げん 選択A 器楽	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
8 思いに合った表げん 選択B 歌唱	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第4学年 音楽		学年 第4学年			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈音のスケッチ〉 役わりをもとに音楽をつくろう	3	(1) フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。 (3) 役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	○フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。	役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈いろいろな歌声を楽しもう〉 歌げき「魔笛」から	2	(1) 曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴く。 (3) いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌劇の音楽に親しむ。	曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。	いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第4学年 図画工作

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●いろいろな絵の具研究所	2	○絵の具のいろいろな表し方を工夫する。○絵の具の新しい使い方を表したいことを考える。 ○思いがけない形や色の美しさをたのしむ。	○身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっていいる。 ○身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、表し方を工夫して表している。	○思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけ、どのように表すか考えている。 ○造形的なよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○いろいろな用具を使って絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくりだす学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●はる はる はる絵	2	○材料の特徴を生かして、組み合わせを工夫する。 ○いろいろな材料の形や色、組み合わせから表したいことを考える。 ○貼り絵に表すことをたのしむ。	○紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色などの感じがわかっていいる。 ○材料を切って並べる、重ねるなど表し方を工夫して表している。	○いろいろな材料の形や色、質感などの違いやよさから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○材料の形や色の組み合わせや配置のよさや美しさを味わい、貼り絵に表す学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●紙バックでバックパク	4	○仕組を生かして、飾りや動かし方を工夫する。 ○仕組みから表したいものを考える。 ○動かすと面白いおもちゃをつくることをたのしむ。	○四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかっていいる。 ○テープや接着剤などを適切に扱い、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫して表している。	○仕組みの動きから表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。 ○互いの作品で遊びながら、造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○動く仕組を生かしたおもちゃをつくる学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●むすんで つないで	2	○枝の結び方やつなぎ方を工夫する。 ○枝をつけた場所が変化する様子から、表したいことを考える。 ○枝を結んだりつないだりして、場所が変化することをたのしむ。	○身近な場所を使って枝をつなげ、思いついたことをする活動を通して、形や色などの感じがわかっていいる。 ○身近な場所を使って枝を結んだりひっかけたりつなげたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	○枝と枝をつなげることでできる場所の変化をもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○造形的なよさやいろいろな表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。	○友達と協力して、枝を結んで場所を変化させる学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●木々を見つめて	4	○木の描き方や色づくりを工夫する。 ○木から感じたことをもとに表したいことを考える。 ○お気に入りの木を描くことをたのしむ。	○身近にある木々を見たり触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっていいる。 ○色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて、表し方を工夫して表している。	○身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに自分のイメージをもちながら、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○身近にある木々に関心をもち、自分なりの木を描く学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●自然の色 どんな色	2	○作品のよさ、形や色の工夫に気づく。 ○作品の形や色から感じ取ったことについて考える。 ○互いの見方や感じ方のよさや違いを味わう。	○身近な美術作品を鑑賞することを通して、形や色などの感じがわかっていいる。	○身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい、自然が描かれた美術作品を鑑賞する学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●つないで組んで すてきな形	4	○紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫する。 ○飾ったり使ったりするものを考える。 ○飾ることや使うことを思い浮かべてたのしくつくる。	○紙バンドに触ったり加工したりする行為を通して、紙バンドの手触りや特徴、色などの感じがわかっていいる。 ○ホチキスを適切に扱い、紙バンドの特徴を生かして加工し、組み合わせ方やつなぎ方を工夫して表している。	○形や色などの感じから飾ったり使ったりするものを思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○紙バンドの特徴を生かして使ったり飾ったりするものをつくる学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●お気に入りの形	2	○粘土に触ってできる形を工夫する。 ○気に入った形をたくさん見つける。 ○粘土の感触を味わいながら、つくり変えることをたのしむ。	○粘土をさまざまな触り方をすることで粘土でできる形の感じが変わる特徴について、自分の感覚や行為を通してわかっていいる。○表したいことに合わせて手や指、手のひらなどの使い方を工夫して表している。	○自分がお気に入りだと感じる形のイメージをもちながら、さまざまな触り方や形を見つけ、どのように表すか考えている。 ○友達の作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○粘土のよさを味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探る学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●ちかごろむちゅうです	4	○夢中になっている様子が伝わるように表し方を工夫する。 ○生活の中から表したい場面を考える。 ○自分が夢中になっていることを絵に表すことをたのしむ。	○身近な出来事を書くことを通して、形や色などの感じがわかっていいる。 ○これまでの描画材料の経験を生かして、伝えたいことに合わせて表し方を工夫している。	○生活の中から絵に表したい場面を見つけて形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の表したいことやいろいろな表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○身近にあるたのしみを絵に表す学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●小さくなって遊びにいこう	4	○身のまわりのもので遊んでいる様子が伝わるように表し方を工夫する。 ○身のまわりのものの形や色などから遊びを考える。 ○身のまわりのもので遊ぶ様子を絵に表すことをたのしむ。	○身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、形や色などの感じがわかっていいる。 ○表したい様子が伝わるように、表し方を工夫している。	○小さくなった自分が身のまわりのもので遊ぶ様子を想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。 ○友達のアイデアや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●どろどろカッチン	4	○固めた布の形から思いついたものの表し方を工夫する。 ○固めた布の形から表したいことを考える。 ○固めた布の形から思いつくことをたのしむ。	○材料で型を組んだり布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっていいる。 ○布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫して表している。	○固まった布の形から自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、どのように表すか考えている。 ○いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○液体粘土の感触を味わい、固めた布から思いついたものをつくる学習活動にすすんで取り組もうとしている。

第4学年 図画工作

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●直線と曲線から生まれる形	4	○割り箸と竹ひごの組み合わせを工夫する。○線と面を生かした形を考える。 ○線と面を組み合わせることをたのしむ。	○割り箸と竹ひごを組み合わせることを通して、線と面の形などの感じがわかっていく。○思いついたことに合わせて、つなげる、貼る、色を塗るなど、表し方を工夫して表している。	○材料をつなげて立体をつくることから表したいことを見つけ、線と面の形を生かしながらどのように表すか考えている。 ○線と面を組み合わせた構成と形、色のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○線と面の組み合わせや形や色のよさを味わい、割り箸と竹ひごで組み合わせることで表す学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●わくわくランドで遊ぼう	2	○身近な場所を生かした活動を工夫する。 ○学校にある場所や自然の材料を生かして、たのしく遊べるしかけを考える。 ○友達と協力してたのしく活動する。	○活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色の感じがわかっていく。 ○見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、身近な材料と組み合わせる感じを生かして活動を工夫してつくっている。	○場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして活動を楽しみ、どのように活動するか考えている。 ○アトラクションを互いに見せ合ったり遊んだりして、よさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○友達と協力して、身近な場所や自然材料を生かしてつくる学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●学校もりあげますコット	4	○紙粘土に絵の具を混ぜてつくるカラフル粘土で、形や色を工夫する。 ○その場所にふさわしい形や色のマスコットを考える。 ○マスコットをつくったり見せ合ったりして、伝え合うことをたのしむ。	○紙粘土に絵の具を混ぜてカラフル粘土をつくり、マスコットを表すことを通して、形や色などの感じがわかっていく。 ○表したいマスコットに合わせて、紙粘土の形や色を工夫して表している。	○学校の場所やもの、学校生活での経験などからイメージを広げ、表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の発想、表し方の工夫や違いに気づき、見方や感じ方を広げている。	○マスコットをつくったり飾って見せ合ったりして伝え合う学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●本を開くとお気に入りの場面	4	○伝えたい場面に合わせて、つくり方を工夫する。 ○お気に入りの場面をどのように表すか考える。 ○お気に入りの場面を伝え合うことをたのしむ。	○お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっていく。 ○表したい場面に合わせて、形や色、紙粘土や段ボールなどの使い方やつくり方などを工夫して表している。	○物語を読んで、思い浮かべたお気に入りの場面の様子や登場人物の気持ちなどから、表したいことを思いつき、物語の場面のよさを伝えるためにはどのように表すとよいか考えている。 ○友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○お気に入りの場面を表し、伝え合う学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●飛び出すハッピーカード	4	○飛び出す仕組みを生かして、表し方を工夫する。 ○贈る相手を思い浮かべて、伝えたいことを考える。 ○カードをつくったり渡したりすることをたのしむ。	○飛び出す仕組みのカードをつくる活動を通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっていく。○飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて形や色や組み合わせ方を工夫して表している。	○贈る相手のことを思い浮かべて表したいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。○互いのカードの工夫やよさに気づき、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくったカードで気持ちを伝える学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●ほった線からはじまるお話	4	○彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫する。○彫ってできた線の感じから想像を広げ、表したいことを考える。○彫刻刀で彫って、紙に刷ることをたのしむ。	○彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっていく。○彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	○彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい話を思いつき、どのように表すか考えている。○材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりする学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●紙の箱だいへんしん	2	○箱の切り方や組み合わせ方を工夫する。○切った箱の形や組み合わせた形から、つくりたい飾りを考える。 ○箱を切って組み合わせることをたのしむ。	○紙の箱を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色などの感じがわかっていく。 ○紙の箱の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫して表している。	○紙の箱を切ったり折ったりして形を変えながら表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしてどのように表すか考えている。○自分や友達の作品やその表現の過程などにおいて、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表現の工夫などを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○紙の箱を切って組み合わせることで表現したり、作品を鑑賞したりする学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●へんてこ山の物語	4	○表したいことに合わせて、描く材料を選び、形や色を工夫する。 ○思いついたへんてこな形からお話を考える。 ○へんてこ山を描くことをたのしむ。	○「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっていく。 ○描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を工夫して表している。	○へんてこな形から表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の「へんてこ山」のよさやおもしろさ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○描く喜びを味わい、想像の世界を絵に表す学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●カクカク板を組み合わせたら	4	○板の組み合わせを工夫する。 ○組み合わせた形からつくりたいものを考える。 ○板の組み合わせから、新しい形が生まれることをたのしむ。	○のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりして、形や色、組み合わせの感じがわかっていく。 ○板を切ったり補助的な材料を組み合わせたりしながら、組み合わせた形やその使い方を工夫して表している。	○切った板の形や組み合わせからイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○板をさまざまな形に切り分けて自分のつくりたいものをつくる学習活動にすすんで取り組もうとしている。
●みんなでたのしいだんボールランド	2	○段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫する。 ○どんなだんボールランドをつくるか考える。 ○友達と力を合わせて段ボールで活動することをたのしむ。	○段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっていく。 ○段ボールや段ボールカッターを適切に扱い、段ボールを組み合わせたり、切つないだり、形を変えたりするなど、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	○段ボールや広い場所などをもとに造形的な活動を楽しみ、どのように活動するか考えている。 ○自分や友達の活動の造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい、友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動にすすんで取り組もうとしている。

第4学年		図画工作			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
●ゆめいろランプ	4	○ランプの材料や色の組み合わせを工夫する。 ○光を通した感じから、つくりたいランプを考える。 ○ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしむ。	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			○光を通す材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の感じがわかっていく。 ○用具を適切に使い、光を通す材料の形や色、その組み合わせ方などを表したいことに合わせて工夫して表している。	○映る光の影の形や色、材料を切ったり重ねたりして想像したことなどから表したいことを見つけ、形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。 ○自分や友達作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○材料を透過する光のよさや面白さなどを味わい、ランプをつくって、みんなで飾る学習活動にすすんで取り組もうとしている。

第4学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達のと体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動にすすんで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
多様な動きをつくる運動	5	・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ)体を移動する運動 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動きで構成される運動や、一定の速さでのかけ足などの運動を通して、体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗る、跳び越すなどの動きで構成される運動を通して、巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 エ)力試しの運動 人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 (オ)基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する、用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり、連続して行ったりする運動を通して、基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動にすすんで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
マット運動	6	・自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転(発展技:開脚前転) ○易しい場での開脚前転 ○開脚後転(発展技:伸膝後転) ○補助倒立ブリッジ(発展技:倒立ブリッジ) ○側方倒立回転(発展技:ロンダート) ○首はね起き(発展技:頭はね起き) ○頭倒立	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・マット運動の基本的な技にすすんで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

第4学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鉄棒運動	6	・鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に組み組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り下り(発展技:前方支持回転) ○かかえ込み前回り(発展技:前方支持回転) ○転向前下り(発展技:片足踏み越し下り) ○膝掛け振り上がり(発展技:膝掛け上がり) ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり(発展技:逆上がり) ○かかえ込み後ろ回り(発展技:後方支持回転) ○後方片膝掛け回転	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達との技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技にすすんで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
跳び箱運動	8	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に組み組んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び(発展技:かかえ込み跳び) ○台上前転(発展技:伸膝台上前転) ○首はね跳び(発展技:頭はね跳び)	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達との技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技にすすんで取り組んでいる。 ・跳び箱、踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
かけっこ・リレー	6	・いろいろなかけっこをしたり、きまりを工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。	・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・8秒間走やリレーの仕方について考え、競走の規則やリレーの仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・かけっこ・リレーのポイントや友達とのよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・かけっこ・リレーにすすんで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
小型ハードル走	6	・いろいろなコースで、3歩のリズムで小型ハードルを走り越し、競走する。	・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。	・3歩のリズムで調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達とのよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・小型ハードル走にすすんで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
走り高跳び	5	・短い助走から強く踏み切って跳び、決まりを工夫して跳び比べをしたり、記録に挑戦したりする。	・走り高跳びの行い方がわかる。 ・3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、足から着地することができる。	・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・走り高跳びのポイントや友達とのよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り高跳びにすすんで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り高跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

第4学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ボール投げ	1	・いろいろな場でボールを投げて、ボールを遠くに投げる。	・ボール投げの行い方がわかる。 ・投げる手と反対の足を踏み出して体重移動をスムーズに行い、腕を大きく振ってボールを遠くまで投げるができる。	・ボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・ボール投げのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに投げるための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合っで決めたり、選んだりしている。 ・ボール投げのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・ボール投げにすすんで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・ボール投げをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
水泳運動	8	・いろいろな浮き方やもぐり方、簡単なクロールや平泳ぎをする。	【浮いて進む運動】 ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して、伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 ・補助具を用いて浮き、呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け、手や足をゆっくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない簡単なクロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ、簡単なクロールや平泳ぎなど、頭の上に腕を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。 【もぐる・浮く運動】 ・もぐる・浮く運動の行い方がわかる。 ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ、股ぐり、変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。 ・補助具を使って浮力を生かしたいろいろな浮き方をすることができる。 ・大きく息を吸い込み全身の力を抜いて背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。 ・だるま浮きやポビングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。	・自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・補助具を活用したり、友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや、課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。 ・自分で試したいろいろなもぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしったりしている。	・水泳運動にすすんで取り組んでいる。 ・け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・準備運動や整理運動を正しく行う、パディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る、プールに飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。
ゴール型(フラッグフットボール)	7	・作戦を基に攻め方を工夫して、フラッグフットボールをする。	・フラッグフットボールの行い方がわかる。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールをタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	・誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・フラッグを取ったり、タッチダウンするための簡単な作戦を話し合っで決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・フラッグフットボールにすすんで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ベースボール型(ティーボール)	6	・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ティーボールをする。	・ティーボールの行い方がわかる。 ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一歩前に踏み出してボールを投げるができる。 ・向かってくるボールの正面に移動することができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。	・誰もが楽しくティーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合っで決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・ティーボールにすすんで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

第4学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ネット型(キャッチバレー)	6	・みんなで繋いで、落とすための工夫をして、キャッチバレーをする。	・キャッチバレーの行い方がわかる。 ・いろいろな高さのボールを片手、両手をでキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。 ・相手コートから飛んできたボールを片手、両手を使ってキャッチし、相手コートに返球することができる。 ・ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。	・誰もが楽しくキャッチバレーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるための簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・キャッチバレーにすすんで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ゴール型(グリッドサッカー)	8	・パスやシュートをしなが、攻め方を工夫して、グリッドサッカーをする。	・グリッドサッカーの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にパスを出したり、シュートをしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	・誰もが楽しくグリッドサッカーができるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・グリッドサッカーにすすんで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
表現・ジャングル探検に出発！	6	・ジャングル探検のいろいろな場面の特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	・表現「ジャングル探検に出発！」の行い方がわかる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」ならではのふさわしい動き(草むらや暗い洞窟を進む、折れそうな橋を渡るなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶ一転がる、素早く動く一急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。	・表現「ジャングル探検に出発！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・表現「ジャングル探検に出発！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。	・表現「ジャングル探検に出発！」にすすんで取り組んでいる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」に取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。
リズムダンス	6	・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。	・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。	・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きを一緒に踊るなどして伝えている。	・リズムダンスにすすんで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。
変化していく体	2	・体は、年齢とともに発育し、変化すること、発育には個人差があることを理解できるようにする。 ・体の発育の仕方には個人差があることを、表やグラフなどの資料から読み取り、説明できるようにする。 ・これまでとこれから、自分たちの体の変化の仕方や個人差について関心をもち、肯定的に捉えることができるようにする。	・体は年齢とともに発育、変化することがわかる。 ・身長は毎年同じように伸びるのではないこと、どれぐらい伸びるか、どのように伸びるかは一人ひとり違うことがわかる。 ・体重の増え方も人によって違うことがわかる。 ・発育の仕方には個人差があることがわかる。	・身長は伸び方は毎年違うことを、記録することから見付けている。 ・小さいころと比べて今の自分が大きくなったことを、身長以外のことから説明している。 ・身長は伸び方に個人差があることを6人の身長の伸び方から読み取り、気づいたことを説明している。	・体の発育に関心をもち、自己の発育について確かめようとしている。 ・発育の仕方には個人差があることをおさえたうえで、自分のこれからの発育に希望や期待をもとうとしている。
思春期の体の変化 ①体の外にあらわれる変化	2	・思春期には体つきの変化や発毛など、体に変化が現れること、それらには男女差、個人差があることを理解できるようにする。 ・思春期に現れる男女の体の変化について、資料を参考にしながら、個人差があることを説明できるようにする。 ・思春期の体の変化に関心をもち、意欲的に調べたり考えたりして、変化することや個人差があることを肯定的に捉えることができるようにする。	・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることがわかる。 ・思春期には体つきが変わるほかに、変声、発毛が起こることがわかる。 ・体の変化が始まる時期や、変化の現れ方には個人差があること、これらは大人の体に近づく現象であることがわかる。	・1年生のころの写真と大人の写真から、大人に近づくにつれて男女の体つきにはどんな違いが現れてくるのかを考え、発表している。 ・思春期に起こる体の外的変化にはどのようなものがあるのか、調べ、説明している。 ・思春期に起こる体の外的変化について、自分の成長と結び付けて考えようとしている。	・思春期に起こる体の変化の学習に関心をもちようとしている。 ・思春期に起こる体の変化について、自己の変化を他者と比べて不安になることなく、自分や友達に理解ある態度で接する心構えをもとうとしている。

第4学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
思春期の体の変化② 体の中にあらわれる変化	2	・思春期になると、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 ・思春期の体の変化について学習したことを、自分の体の発達と結び付けて考え、表現することができるようにする。 ・新しい生命を生み出す準備として自身の体に変化することについて受け止め、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・思春期には体つきが変わるほかに、初経・精通が起こることがわかる。 ・初経・精通が起こる時期は個人差があることがわかる。 ・初経・精通は、大人の体に近づき、新しい生命を生み出す準備が始まっていることがわかる。 ・思春期になると男女の性の違いに気づきやすくなり、異性のことが気になったり、好きになったりする思いが高まる一方で、反発し合うこともある。これらの心の変化は自然なことであること、変化のしかたは人によって違うことがわかる。	・思春期には、体の中でどのような変化が起こるのかを調べ、変化が起こるしくみを説明している。 ・思春期の心の変化について小さいころと比べて違いを説明している。	・思春期に起こる体の中の変化に関心をもち、自分や友達の体の変化、あるいは異性の体の変化に理解ある態度で接する心構えをもとうとしている。 ・思春期の心の変化を、変化しない場合も含めて、自然なこととして受け入れている。
よりよい発育のために	2	・よりよい発育のためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。 ・よりよい発育のためには、運動、食事、休養・睡眠などにおいて、どのような所に気をつけたらよいのか自らの生活を振り返りながら考え、説明できるようにする。 ・よりよい発育のための運動、食事、休養・睡眠について、意欲的に考え、実行にうつすことができるようにする。	・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、多くの種類の食品をとることができるようなバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることがわかる。 ・運動は、生涯を通じて骨や筋肉などを丈夫にする効果が期待されることがわかる。 ・食事については、特に、体をつくる基になるたん白質、不足しがちなカルシウム、不可欠なビタミンなどを摂取する必要があることがわかる。 ・十分な休養・睡眠をとることは、体と心の疲れをとるだけでなく、体の発育にも関係があることがわかる。	・無理なく、毎日続けられる運動にはどんなものがあるのかを考え、自分に合った無理のない運動をいくつか見付けている。 ・適切な運動を毎日続けていると体にどんな効果があるのかを調べて、説明している。 ・よりよい発育のために、どんな食品を食べるのがよいのかを調べて、発表している。 ・バランスのよい食事にするために、どんな食品をとったらよいのかを考え、他者に伝えている。 ・よりよい発育と、休養・睡眠の関係について考え、説明している。	・毎日無理なくできる運動に興味をもって探し、実施しようとしている。 ・食事のとり方に関心をもち、多くの種類の食品をバランスよく食べることを心がけようとしている。 ・発育と睡眠の関係に関心をもち、よい睡眠をとれるよう心がけようとしている。

第4学年 外国語活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit1 Hello, world! 世界のいろいろなことばであ いさつをしよう	2	○さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い 方に慣れ親しむ。 ○友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。 ○相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうと する。	○さまざまな挨拶の仕方があることに気付くこと に、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しんで いる。	○友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え 合っている。	○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな 遊びに誘おうとしている。
Unit2 Let's play cards. 好きな遊びをつたえよう	4	○世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があること に気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現 に慣れ親しむ。 ○好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。	○世界と日本の遊びの共通点と相違点を通し て、多様な考え方があることに気付くことと ともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、 遊びに誘う表現に慣れ親しんでいる。	○好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝 え合っている。	○相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊 びに誘おうとしている。
Unit3 I like Mondays. 好きな曜日は何かな？	3	○世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を 尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。	○世界の同年代の子供たちの生活を知るとと もに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたり する表現に慣れ親しんでいる。	○自分の好きな曜日について、尋ねたり答え たりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝 え合おうとしている。
Unit4 What time is it? 今、何時？	4	○世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課 の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。 ○自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。	○世界の国や地域によって時刻が異なること に気付くとともに、時刻や日課の言い方や尋 ね方に慣れ親しんでいる。	○自分の好きな時間について、尋ねたり答え たりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、自分の好きな時間につ いて伝え合おうとしている。
Unit5 Do you have apen? おすすめの文房具セットをつ くろう	4	○文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣 れ親しむ。 ○文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとす る。	○文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ね たり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○文房具など学校で使う物について、尋ねたり 答えたりして伝え合っている。	○相手に配慮しながら、文房具など学校で使う 物について伝え合おうとしている。
Unit6 Alphabet アルファベットで文字遊びをし よう	4	○身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く、活 字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 ○身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 ○相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。	○身の回りには活字体の文字で表されているも のがあることに気付く、活字体の小文字とその 読み方に慣れ親しんでいる。	○身の回りにあるアルファベットの文字クイズ を出したり答えたりしている。	○相手に配慮しながら、アルファベットの文字に ついて伝え合おうとしている。
Unit7 What do you want? ほしいものは何かな？	5	○食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親し む。 ○欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介 し合う。 ○相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。	○食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求 したりする表現に慣れ親しんでいる。	○欲しい食材などを尋ねたり要求したりすると ともに、考えたメニューを紹介し合っている。	○相手に配慮しながら、自分のオリジナルメ ニューを紹介しようとしている。
Unit8 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうか いしよう	4	○世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方がある ことに気付くとともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕方に慣れ親 しむ。 ○自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え 合ったりする。 ○相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとす る。	○世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通 して、多様な考え方があることに気付くことと ともに、教科名や教室名の言い方や道案内の仕 方に慣れ親しんでいる。	○自分が気に入っている校内の場所に案内し たり、その場所について伝え合ったりしている。	○相手に配慮しながら、自分が気に入っている 場所について伝え合おうとしている。
Unit9 This is my day. ぼく・わたしの一日	5	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く、日課を表す表現に慣 れ親しむ。 ○絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりす る。 ○相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。	○日本語と英語の音声やリズムなどの違いに 気付く、日課を表す表現に慣れ親しんでいる。	○絵本などの短い話を聞いて反応したり、お およその内容が分かったりしている。	○相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞 いて反応しようとしている。

第4学年		総合的な学習の時間			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
障害理解教育 「共に生きる」	35	はこべ学級との交流や、障害のある方の話を聞き、障害についての正しい認識を深めることができる。	○障害のある方の思いや願いを知ることにより、相手の身になって温かく接し、行動できる大切さを理解している。	○視覚障害のある方と交流したり、調べたりして得た情報を基に、パンフレットやポスターに載せたい内容について、分類しながら整理している。	○視覚障害のある方との交流を通して、自分の生活についてじっくり考え、自分に何ができるかを考えてすすんで関わろうとしている。

第4学年 特別活動		単元のまとまりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級の目標を決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
運動会を成功させよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常の生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期を振り返ろう (夏休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう (夏休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★篠三まつりを成功させよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
★学習発表会を成功させよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
2学期のめあてを振り返る (冬休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう (冬休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	2	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常の生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
委員会活動の準備をしよう	1	高学年への自覚をもち、委員会活動における自己の役割を自覚して、協働することの意義を理解し、よりよい学校生活にするために必要となることについて主体的に考えて行動する。	高学年への自覚をもち、自己の役割を自覚し、自己の良さを生かしながら、よりよい学校生活にするために必要な知識や行動の仕方を理解している。	高学年への自覚をもち、よりよい委員会活動にするための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、創意工夫を発揮したり、他者と協力したりして実践している。	高学年への自覚をもち、よりよい学校生活するために、それぞれの委員会に応じた計画を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して、主体的に行動しようとしている。
すてきな5年生を目指そう (春休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

第4学年 読書科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビブリオバトルをしよう 調べる名人になろう	12	○ビブリオバトルを楽しむとともに、友人からの薦めによる読書の広がりをもつことができる。 ○疑問解決のために、図書資料から情報を収集することができる。	○本の内容や要旨を捉え、その本の魅力をまとめる力を身に付けている。 ○日本十進分類法に図書館の本が並んでいることを理解している。	○自己の読書をふりかえり、本のおもしろさやよさについて積極的に自分の意見をまとめ、クラス全体に伝えている。 ○疑問を解決するために記録したカードを使って、必要な情報を分類している。	○すすんで本を読み、紹介しようとしている。 ○疑問を解決するために探した本をすすんで読んでいる。
読書発表会をしよう ふしぎ図かんを作ろう	15	○複数の本をまとめて紹介するブックトークの活動を通して、読書の世界を豊かにすることができる。 ○身近なことから不思議に思ったことを図書資料の中から探し、みんなに伝えることができる。	○本を複数選び、比べて読んで、相互に関連付けてブックトークの構成を考えている。 ○疑問の解決のために図書館の資料から必要な情報を正確に書き抜いたり、短い言葉や文で表したりしている。	○テーマに合わせて紹介するために、いろいろな本を選んで読んでいる。 ○身近な生活と結び付けて、調べたいことを見つけている。	○紹介したい本を数冊選び、すすんで「読書発表会」をしようとしている。 ○疑問解決のために探した本をすすんで読んでいる。
ユニバーサルデザインに関する本を読もう 1年間の自分の読書を振り返ろう	8	○十進分類法を基に、1年間の読書傾向を振り返り、次年度の学習に生かすことができる。	○自己の読書傾向を十進分類法を基にして振り返ることができる。	○読書傾向や読書生活のふり返りから、読みたい本を見つけている。	○読書傾向や読書生活を振り返り、読書の良さが分かりすすんで本を読もうとしている。